

毎年 7 月は河川愛護月間です！

「せせらぎに ぼくも魚も すきとおる」を推進標語に、良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進する取り組みが全国的に行われています。

岩見沢河川事務所でも身近な河川の水質状況や河川愛護の重要性を理解して頂くことを目的に、出前講座や地域の小学校と共同で水生生物調査を行う予定です。

旧美唄川を愛し、きれいにする集いに参加しました

河川愛護月間の活動の一環として、7月5日 NPO 法人「山のない北村の輝き」が主催する河川清掃に参加しました。今年で 17 回目となる河川清掃には約 70 名が参加し、旧美唄川の河川風景を楽しみながら約 3.5 km の堤防沿いのゴミを拾い、爽やかな汗を流しました。

河川清掃活動の様子



空き缶・ペットボトルのポイ捨てが多かったです。  
不法投棄は犯罪になります。

河川愛護月間系のポスター



洪水に備えて重要水防箇所合同巡視を行いました！

洪水時において迅速かつ的確な水防活動の実施によって、洪水被害の軽減を図るため、管内の市町村と合同で石狩川・幾春別川等の重要水防箇所の巡視を実施しました。

過去の被害や河川整備の進行状況から、注意すべき箇所の共有を図り、災害発生時に北海道開発局から貸与できる排水ポンプ車や防災備蓄資材についての情報提供も行いました。

各自治体とは、広く防災に関する意見交換を密に行い、被害が最小限になるよう連携を図っています。

合同巡視の状況

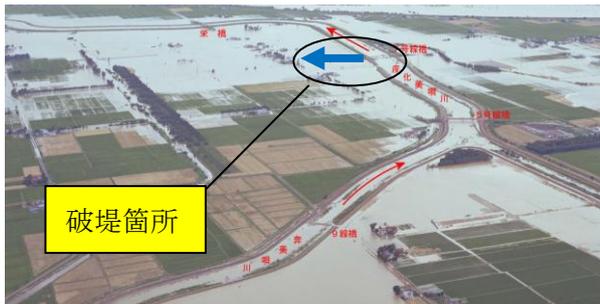


事業紹介！！

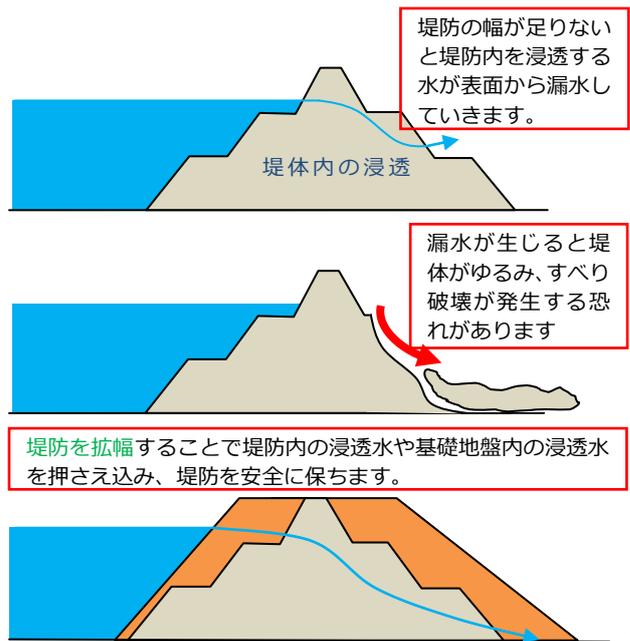
石狩川中下流部は低平地のため、堤防が石狩川の水位上昇の影響を受けやすく、これまでに何度も洪水被害を経験しています。戦後最大規模の洪水となった昭和 56 年 8 月洪水では、岩見沢で 400mm を超える雨量を記録し、流域に甚大な被害を生じました。

岩見沢河川事務所では昭和 56 年 8 月洪水と同じ雨量が降ったとしても洪水を安全に流下させるため、堤防や遊水地の整備、河道掘削等を実施し、災害発生の防止や被害軽減を図っています。

昭和 56 年 8 月洪水の様子（産化美唄川の破堤）



堤防整備の考え方の例：  
浸透水に対して安全な堤防の幅の確保



お問い合わせ先